

登米の地から

# とめのちから

登米の力



## 中堅社員研修を開催しました！

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所地方振興部

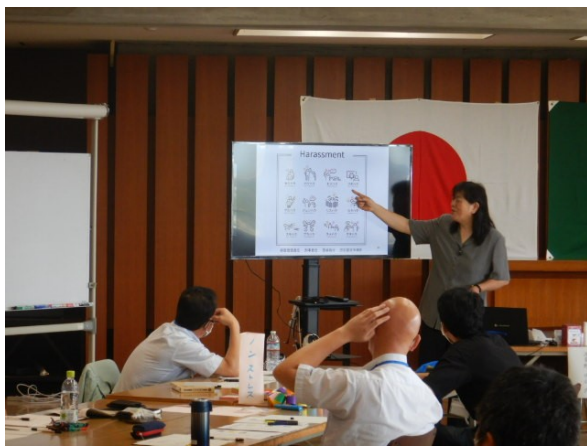
9月5日（火）に登米合同庁舎で「中堅社員研修」を開催しました。この研修は、管内企業の中堅社員等を対象に、風通しのよい職場をつくるためのコミュニケーションやリーダーシップについて学んでいただくことを目的としています。

今回は経営コンサルティング波多野事務所の波多野ゆか氏を講師にお招きし、「明るく働きがいのある職場づくりのために」～リーダーの『目配り・気配り・言葉配り～』～というテーマで研修を実施しました。

参加者は、講師の話に熱心に耳を傾け、積極的にグループワークにも参加していました。

また、「コミュニケーションをする際の言葉遣いや職場での他の職員との接し方を学ぶことができた。」「グループで意見を出し合い、楽しく研修を受けることができた。」といった感想をいただきました。

今後も登米管内の企業の方々を対象とした様々な研修を実施してまいります。



セミナーの様子①



セミナーの様子②

～公式InstagramとTwitter「ほっとめーしょん」

で登米地域の“ほっと”な情報を発信中です～



Instagram



X (旧Twitter)

おすすめの食べ物や景色、施設のほか、季節のおすすめスポットなど、登米地域の様々な魅力情報を職員目線で発信しています。

投稿内容は、「ほっとめーしょん」で検索していただくか、右上のQRコードよりご覧ください！



## 農業における経営継承について学びました

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業振興部

「自分の経営を次の世代にどう引き継ぐか、しかし何から始めればいいのか・・・」と考えている経営者は多いと思います。

そこで8月24日（木）、登米合同庁舎において「農業における経営継承研修会」を開催しました。当日は管内の農業法人及び関係機関約30人が参加し、事業承継士の資格を持つ株式会社ケミストリー代表 村上一幸氏から、経営継承の課題と対応、進め方について講演をいただきました。

講師からは「負債などのマイナスの情報も後継者に伝えること」、「ただ引き継ぐのではなく、経営の課題を継承計画に盛り込み対応することが重要」、「経営継承は家族を巻き込んだ話し合いが必要」などのポイントの他、土地などの財産の継承方法、第三者に経営を引き継いだ実例についても紹介していただきました。

参加者はメモを取って熱心に受講し、休憩時には直接質問をする生産者もおり、経営継承に対する関心の高さが伺えました。

その他、専門家派遣による経営継承計画作成や農薬の安全使用についても情報提供を行いました。

農業振興部（登米農業改良普及センター）では、今後も関係機関・団体と連携し、農業後継者育成に取り組んでまいります。



研修会の様子

## 令和5年度みやぎ出前講座「田んぼの学校」を開催しました

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所農業農村整備部

当所農業農村整備部では、登米市立東郷小学校からの申し込みを受け、7月5日（水）に学校近くの農業用水路でみやぎ出前講座「田んぼの学校」を開催しました。

本講座は、自分たちの住む農村や田んぼが持つ役割を理解してもらうことを目的に、5年生25人を対象として、当所農業農村整備部職員に加え、迫川沿岸土地改良区職員と地域の環境を守る「裏大岳ふる里守り隊」の皆さんに御協力いただき実施しました。

講座の中では、田んぼの役割について講義を行った後、水路内の生き物調査や水質調査を行い、子供たちからは、「田んぼの様々な役割について知ることができて、とても勉強になった」といった感想をいただきました。

当部ではこれからも、「田んぼの学校」の活動を継続し、子供たちの農業・農村に関する学習を支援していきます。



講座の様子



生き物調査の様子



# 登米和牛育種組合 名誉賞 受賞！

## ～令和5年度宮城県総合畜産共進会 肉用牛の部 開催～

宮城県東部家畜保健衛生所

9月8日（金）～9日（土）にみやぎ総合家畜市場にて「令和5年度宮城県総合畜産共進会 肉用牛の部」が開催されました。

全68頭の出品牛の内、登米地域からは7月に開催された登米市畜産共進会を勝ち抜いた精鋭10頭の雌牛達が出品されました。昨年、5年に1度の「全国和牛能力共進会」が鹿児島県で開催されたこともあり、高レベルな共進会になりました。

そのような中、第4区高等登録群に登米和牛育種組合としてチバズファーム（株）から出品

された「かなのこ」号、「れめき」号が最優秀賞1席に入賞し、最も優れた群出品牛に与えられる名誉賞を獲得しました。

その他にも第3区経産の部で登米地域からの出品牛全頭が入賞するなど、4区以外でも入賞を果たし、改めて登米地域の和牛の良さや高い飼養管理技術などを再確認する場となりました。

今後も、登米地域の活躍にご注目ください。

出品区分	県共出品牛		出品者		備考
	名号	父	地区	氏名	
第1区 若雌の1	いちこ	安百合幸	東和町	伊藤 功一	最優秀賞3席
	たかねのはな	茂福久	迫町	佐藤 亮	
第2区 若雌の2	ひさかつ	茂福久	迫町	岡田 武彦	最優秀賞3席
	ひさくら	茂福久	東和町	猪股 佳幸	
第3区 経産	だいじょうさい	花茂桜	南方町	石川 悠吏	最優秀賞4席
	てまり	茂福久	石越町	佐藤 宜克	優秀賞1席
	ぺこちゃん	洋糸波	中田町	船島 一芳	最優秀賞2席
出品区分	県共出品牛		出品者		備考
	名号	父	地区	氏名	
第4区 高等登録群	かなのこ	茂洋	迫町	チバズファーム(株)	名誉賞
	れめき	諒太郎	迫町	チバズファーム(株)	最優秀賞1席
第5区 父系群	ひさかつ	茂福久	迫町	岡田 武彦	優秀賞1席
	ひさくら	茂福久	東和町	猪股 佳幸	
	ゆりひめ	茂福久	米山町	富栄 隆	

令和5年度宮城県総合畜産共進会 肉用牛の部 登米地域出品牛



第4区高等登録群 名誉賞受賞



第3区経産 登米地域出品牛3頭が入賞

# 10月8日は「木の日」です

宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所林業振興部

9月から11月は、県産材（宮城県内の森林から生産された木材）の利用を推進する「県産材利用推進月間」です。特に10月8日（日）は、「木の日」と定められています（漢字の十と八を合わせて「木」）。

木を取り入れたライフスタイルは、環境にも人にもメリットが多く、SDGsの項目を推進することができます。日々の生活に家具や食器、文房具などの木製品を取り入れたり、木を使った施設や森林に目を向けてみませんか？

＜主な木材利用のメリット＞

- ①木造建築物は、二酸化炭素を木材の中に固定して、脱炭素社会の実現に貢献する。
- ②室内の湿度を調節する効果、香りによるリラックス効果などが得られる。
- ③森林の整備が進み、水を貯める機能や土砂崩れを防ぐ機能など、森林が持つ公益的機能が発揮される。
- ④森林の整備や木材加工、建築分野など地域経済の活性化につながる。



木製品（スマホスタンド、トレー、食器）



内装に木材をふんだんに使用した施設

（みやぎ登米農業協同組合本店・なかだ支店）

## #トメ旅2023フォトコンキャンペーン開催中です！

現在、宮城県東部地方振興事務所登米地域事務所公式SNS「ほっとめーしょん」の開設3周年を記念し、登米地域の魅力を皆さんで発見して作品を投稿していただく、フォトコンテストを開催しています。応募いただいた方の中から合計50名の方に登米グルメの詰め合わせをプレゼントします。

期間は、令和6年1月10日（水）までです。

ぜひ、「トメ旅」をして発見した魅力溢れる作品をご投稿ください。

ご応募お待ちしております。

なお、詳細については、HPに掲載しているチラシをご覧ください。

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/et-tmsgsin-e/tometabiphotocp.html>



Instagramの  
QRコード



# 「スマイルサポーターパネル展」を開催しました！

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

道路ふれあい月間の取り組みとして、「スマイルサポーターパネル展」を開催し、サポーターとして御協力いただいている皆様の活動の様子を紹介しました。

- 月日 8月8日（火）～ 8月17日（木）
- 場所 イオンスーパーセンター佐沼店

## ○ 道路ふれあい月間とは…

道路を常に美しく保ち、安全に正しく利用するための啓発活動や、愛護活動を特に推進する期間として毎年8月を「道路ふれあい月間」と定めています。

道路を利用する方々に、道路とふれあい、道路の役割と重要性を改めて認識していただくため、県全域で様々な取組を行っています。



パネル展の様子

## ○ スマイルサポーターとは…

県が管理している道路や河川において、清掃や緑化作業などの美化活動を行っていただいている団体や個人のことです。

現在、登米市内では、道路55団体、河川22団体の計77団体のスマイルサポーターの皆様にご協力をいただいています。

# 第1回迫川流域治水研修会を開催しました！

宮城県東部土木事務所登米地域事務所

令和5年度第1回目となる「迫川流域治水研修会」を7月27日（木）に県登米合同庁舎で開催しました。



研修会の様子

今回の研修会では、「迫川流域の治水対策及び排水調整」をテーマとして、迫川流域で行われている治水対策やその歴史、そして洪水時に排水機場などで行っている「排水調整」に関する座学に加え、河川管理施設の一つである長沼ダム水門施設の現地研修も行いました。

研修会には、県の職員の外、登米・栗原両市から16名の職員も参加していただきました。

研修会を実施することにより、関係機関相互の連携強化、職員の防災・減災等に関する知識の向上を図りながら、迫川流域の治水対策等の強化・充実を推進しています。

